

山梨県教育委員会主催 令和4年度 特別支援教育に係る基礎講座

# インクルDBの活用方法 について



独立行政法人

国立特別支援教育総合研究所

インクルーシブ教育システム推進センター

国際・情報発信担当

土屋 忠之

<http://inclusive.nise.go.jp/>



# 講義内容

1. 「インクルDB」について
2. 「インクルDB」を活用して学校等にて合理的配慮を検討する

# 1. 「インクルDB」について

# (1) インクルDB (インクルーシブ教育システム構築データベース) について

- ・ 教育関係者や一般国民に向けたインクルーシブ教育システム構築に関する理解啓発のため、関連する情報を提供
- ・ 「実践事例データベース」では、どのような基礎的環境整備や合理的配慮が有効かについて参考となる事例を掲載。

インクルDB (インクルーシブ教育システム構築支援データベース)

文字の大きさ 小 標準 大  
表示色の変更 標準 1 2  
▶ アクセシビリティツールを起動  
▶ ツールの使い方

独立行政法人  
国立特別支援教育総合研究所  
NISE National Institute of Special Needs Education

検索

トップページ ▶ 実践事例データベース ▶ 法令・通知等 ▶ Q&A ▶ 研究報告・リンク ▶ 教育相談情報

トップページ

◎インクルDBについて

本サイトには、大きく3つのコンテンツがあります。

『合理的配慮実践事例データベース』は、文部科学省の「インクルーシブ教育システム構築モデル事業」において取り組まれている実践事例について検索するシステムです。

『相談コーナー』では、都道府県・市区町村・学校からのインクルーシブ教育システム構築の相談を行っています。

『関連情報』では、インクルーシブ教育システム構築に関連する様々な情報を掲載しています。

<http://inclusive.nise.go.jp/>



## (2) 基礎的環境整備及び合理的配慮

### ○合理的配慮

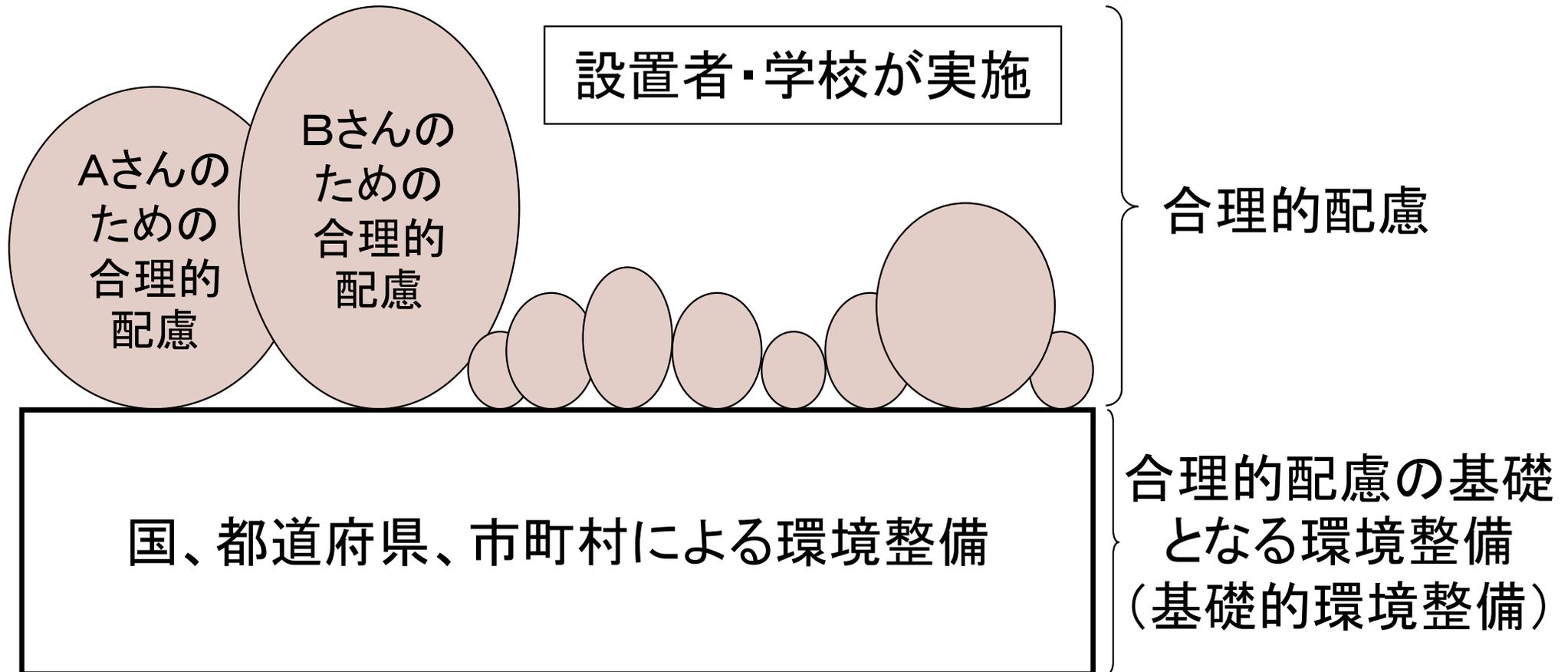
- ・障害のある子どもが、他の子どもと平等に「教育を受ける権利」を享有・行使することを確保するために、学校の設置者及び学校が必要かつ適切な変更・調整を行うこと
- ・障害のある子どもに対し、その状況に応じて、学校教育を受ける場合に個別に必要なもの
- ・学校の設置者及び学校に対して、体制面、財政面において、均衡を失した又は、過度の負担を課さないもの

### ○基礎的環境整備

障害のある子どもの支援については、法令に基づき又は財政措置により、国は全国規模で、都道府県は各都道府県内で、市町村は各市町村で、教育環境の整備を行う。これらは、「合理的配慮」の基礎となる環境整備であり、それを「基礎的環境整備」と呼ぶ。

\* 中央教育審議会初等中等教育分科会「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のため特別支援教育の推進(報告)」平成24年7月より

# (3) 基礎的環境整備と合理的配慮の関係



\* 中央教育審議会初等中等教育分科会「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のため特別支援教育の推進(報告)」平成24年7月より

# (4) インクルDBのWebサイトについて

「実践事例データベース」では、590件(令和4年12月時点)の実践事例を公開しており、実践事例毎に資料をダウンロードできる

「インクルDBを活用した研修例」には、研修のプログラム例や研修にて活用できる資料等を掲載している

## 「合理的配慮」実践事例データベース

### ▶ 実践事例データベース

実践事例データを 29件 追加しました。

<実践事例データ 計 559件 公開> (R3.3.31)

[【事例を閲覧・活用される際の留意事項】](#)

[【インクルDBリーフレット\(カラー印刷 | 白黒印刷\)】](#)

### ▶ インクルDBを活用した研修例

インクルDBを活用した研修等を掲載しています。  
ご参考にしてください。

### ▶ 交流及び共同学習実践事例集

心のバリアフリー学習推進会議の提言に基づき、交流及び共同学習についての事例を掲載しています。

### ▶ 相談コーナー

インクルーシブ教育システム構築の相談はこちらから  
※教育委員会、各学校からの相談を受け付けております。

## 関連情報

### ▶ 法令・通知・用語等

法令・施策や関連用語の解説など

### ▶ Q&A

インクルーシブ教育システム構築に関する保護者向けのQ&Aを設けました

### ▶ 研究報告・リンク

就学に関する情報、教材に関する情報など

### ▶ 教育相談に関する情報

教育相談に関する情報など

### 学校における遠隔授業や動画配信 新型コロナウイルス感染症予防の取組

特別支援学校における遠隔授業や新型コロナウイルス感染症対策の取組例等を掲載しています。

## (5) インクルDBの活用例

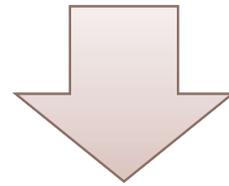
- 学級に在籍している児童生徒の合理的配慮について考える際に参考にする
- ケース会議等で、児童生徒の特性に応じた合理的配慮を検討する際に活用する
- 学校や教育委員会にて児童生徒の特性に応じた合理的配慮に関する教職員の研修に活用する

## 2. 「インクルDB」を活用して 学校等にて合理的配慮を検 討する

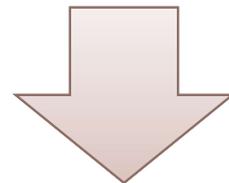
# (1) 検討の流れ (例)



1. 個人で検討



2. ケース会議等で協議



3. 実践事例データベース  
の事例を確認



## (2) このような児童生徒にどのような合理的配慮ができるのでしょうか？

注意欠陥多動性障害の診断を受けている中学校の通常の学級に在籍する2年生である。

こだわりが強く、行動面の切り替えが難しいという実態が見られ、テストも順番通りに解かないと気が済まないところがある。

英単語を書き取ることや文章を読み取ることが難しく、数学の証明問題等の論理的に考えることが苦手で消極的になることが多い。一斉での指示は伝わりにくく、個別の言葉掛けが必要である。

自分のペースで物事を進めるため、他の生徒とトラブルになりがちである。宿題等の未提出も目立ち、注意を受けると身体の不調を訴える等の様子が見られる。



# (3) 学級に在籍している児童生徒の合理的配慮について考える際に参考にする

この児童生徒が抱える課題を整理してみましょう。次にその課題に対してどのような配慮ができるか検討してみましょう。

<児童生徒の抱える困難さ>

・学習面では……

・生活面では……

・その他では……

<考えられる合理的配慮>

・学習面では……

・生活面では……

・その他では……

## (4) 個人で記入したシートを持ち寄って合理的配慮を検討しましょう

個人で記入した内容を持ち寄って、学年や関係する教職員で話し合しましょう。



記入した内容について、全員が発言できるように配慮して、様々な視点から検討できるように配慮することが大切です

# (5) インクルDBの検索方法

## インクルDB (インクルーシブ教育システム構築支援データベース)



文字の大きさ

小

標準

大

表示色の変更

標準

1

2

▶ [アクセシビリティツールを起動](#)

▶ [ツールの使い方](#)

検索

🏠 トップページ

▶ 実践事例データベース

▶ 法令・通知等

▶ Q&A

▶ 研究報告・リンク

▶ 教育相談情報

トップページ

### ◎ インクルDBについて

本サイトには、大きく3つのコンテンツがあります。

『[「合理的配慮」実践事例データベース](#)』は、文部科学省の「インクルーシブ教育システム構築モデル事業」において取り組まれている実践事例について検索するシステムです。

『[相談コーナー](#)』では、都道府県・市区町村・学校からのインクルーシブ教育システム構築の相談を行っています。

『[関連情報](#)』では、インクルーシブ教育システム構築に関連する様々な情報を掲載しています。



<http://inclusive.nise.go.jp/>



14



# (6) 話し合った内容と実践事例データベースの内容を比べてみましょう。

概要

取組のキーワード

R01 0028JC2-AuAD  
2019年度「発達障害の可能性のある児童生徒の多様な特性に応じた合理的配慮研究事業」成果報告書(目)

1. 取組のキーワードについて

(1) 対象児童生徒等の障害種(下のいずれかに●を付すこと。重複障害の場合は、併存有する障害に全てに●を付すこと。)  
視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、弱視・身体虚弱、言語障害、  
●自閉症、情緒障害、学習障害、●注意欠陥多動性障害

(2) 対象児童生徒等の障害の程度(学校教育法施行令第22条の3への該当の有無)(下のいずれかに●を付け、該当・非該当の障害名を( )に記入すること。)  
該当( )、非該当( )

(3) 対象児童生徒等の在籍状況等(下のいずれかに●を付すこと。)  
小学校(通常の学級)、小学校(通常の学級・通級による指導)、  
小学校(特別支援学級)、●中学校(通常の学級)、中学校(通常の学級・通級による指導)、  
中学校(特別支援学級)、高等学校、中等教育学校、  
特別支援学校(幼稚部)、特別支援学校(小学部)、特別支援学校(中学部)、  
特別支援学校(高等部)

(4) 対象児童生徒等の学年(下のいずれかに●を付すこと。)  
年少、年中、年長、1年生、●2年生、3年生、4年生、5年生、6年生

(5) キーワード(10個以内)  
注意欠陥多動性障害、こだわり、整理整頓、校内支援体制、ユニバーサルデザイン

1ページ

(7)【基礎7】個に応じた指導や学び場の設定等による特別な指導  
B中学校では、基礎4で述べたとおり、全教科の指導においてユニバーサルデザインの考え方に基づく授業づくりに取り組んでおり、特別な支援を必要とする生徒に対しては、座席の配置を工夫したりクールダウンの部屋を準備したりしている。

(8)【基礎8】交流及び共同学習の推進  
A生徒に関するものはない。

4. 対象児童生徒等への合理的配慮の実践

(1)【合理①-1-1】学習上又は生活上の困難を改善・克服するための配慮  
A生徒は忘れ物が多く、物事の優先順位をつけることが難しいため、家庭と連携をとりながら、朝夕の日課を視覚化するようにした。ゲームの時間についても家庭内で約束を決めることで、少しずつ生活のリズムも整ってきている。  
また、学校ではできるだけ刺激が少なくなるように座席を前の端に配置するなどの配慮をした。授業中のA生徒のつぶやきや相談に関しては、授業の担当者がすぐに個別に対応できるようにしている。また、特別支援教育支援員は、常時側について支援するのではなく、全体を見ながらA生徒にさりげなく支援ができるように配慮している。

(2)【合理①-1-2】学習内容の変更・調整  
A生徒は、こだわりが強く活動の切替えがスムーズにできないことが多くある。問題では上から順番に解くことにこだわるために時間を要してしまう。そこで、タイマーを使用して時間の見通しをもたせたり、問題の奇数番号、もしくは偶数番号のみ解答するようにする等、課題量の調整を行ったりしている。  
また、A生徒は、周囲の刺激が気になり、集中力を持続させることが難しかった。そのため、授業の中で書字カメラやスライド資料等のICT機器を積極的に活用し、視覚支援を行うようにした。それにより、学習課題や内容に対する興味・関心の喚起につながるとともに、他の生徒と情報を共有しながら学習を進めることができた。

(3)【合理①-2-1】情報・コミュニケーション及び教材の配慮  
A生徒に対しては、コミック会話の技法を使って人の気持ちを想像したり、自分の気持ちを表現したりできるような機会を設定し、継続して取り組むことができたようにした。また、適切な声の大きさ等を視覚的に提示することにより、声量についても少しずつコントロールできるようになってきた。

(4)【合理①-2-2】学習機会や体験の確保  
50分間の授業をユニット化するとともに、各教科の授業においてグループ活動を積極的に行い、発表場面を多く設定することで、他の生徒から認められる経験を重ねることができた。その結果、A生徒も少しずつ周囲の意見を受け入れることができるようになるのと同時に、授業参加への意欲を高めることができた。  
グループ活動では、リーダー的な役割を果たすことができる生徒を各グループに配置する等、人数や机の配置を工夫することで、活動に消極的な場面でもお互いに助け合いながら学習できるように配慮した。  
また、A生徒は文化祭の劇の主役に立候補したが、主役に選ばれなかった。しかし、学級内でのオーディションの結果や、他の生徒からのアドバイスを受けたりするなかで、主

4ページ

対象児童生徒等への合理的配慮の実際

## (7) データベースに記載している対象児童生徒等への合理的配慮の実際

○学習上又は生活上の困難を改善・克服するための配慮

- ・相談に関しては、授業の担当者がすぐに個別で対応する
- ・特別支援教育支援員はさり気なく支援する

○学習内容の変更・調整

- ・問題は上から解くことにこだわるため、タイマーを使用して時間の見通しをもたせたり、奇数又は偶数番号のみ解答するようにする等の調整する

- ・集中力を持続させることが難しいため、書字カメラやスライド資料等のICT機器を活用して視覚支援する

## (8) 実践事例データベースに記載している「対象児童生徒等への合理的配慮の実際」

### ○情報・コミュニケーション及び教材の配慮

- ・コミック会話の技法を使って人の気持ちを想像したり、自分の気持ちを表現したりできるような機会を設定する
- ・適切な声の大きさ等を視覚的に提示する

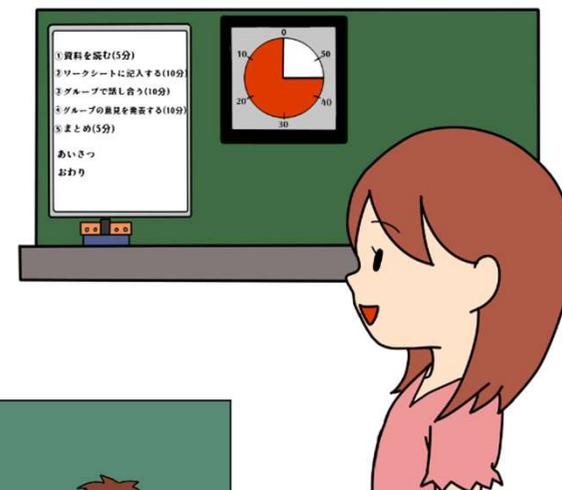
### ○学習機会や体験の確保

- ・50 分間の授業をユニット化し、各教科の授業においてグループ活動を積極的に行い、発表場面を多く設定することで、他の生徒から認められる経験を重ねる
- ・グループ活動では、リーダー的な生徒を各グループに配置する等、人数や机の配置を工夫する

実践事例データベースファイル名：R01 0028JC2-AuAD より抜粋

実践事例データベースを内容から学校の合理的配慮について確認したり、改善点を考えたりしてみましょう。

# 各学校で児童生徒の実態に合わせて 合理的配慮を行っていきましょう



実施した後は、児童生徒の様子や発言から  
配慮を修正して行っていくことが大切です。

# 引用・参考文献

- ・ 国立特別支援教育総合研究所（2020）特別支援教育の基礎・基本2020 新学習指導用対応．ジヤース教育新社．
- ・ 中央教育審議会初等中等教育分科会（2012）共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のため特別支援教育の推進（報告）．

# ぜひ多くの事例をダウンロードして、お役立てください。

## インクルDB (インクルーシブ教育システム構築支援データベース)

独立行政法人  
国立特別支援教育総合研究所  
NISE National Institute of Special Needs Education

文字の大きさ

小

標準

大

表示色の変更

標準

1

2

▶ [アクセシビリティツールを起動](#)

▶ [ツールの使い方](#)

検索

🏠 トップページ

▶ 実践事例データベース

▶ 法令・通知等

▶ Q&A

▶ 研究報告・リンク

▶ 教育相談情報

トップページ

### ◎ インクルDBについて

本サイトには、大きく3つのコンテンツがあります。

『[「合理的配慮」実践事例データベース](#)』は、文部科学省の「インクルーシブ教育システム構築モデル事業」において取り組まれている実践事例について検索するシステムです。

『[相談コーナー](#)』では、都道府県・市区町村・学校からのインクルーシブ教育システム構築の相談を行っています。

『[関連情報](#)』では、インクルーシブ教育システム構築に関連する様々な情報を掲載しています。



<http://inclusive.nise.go.jp/>



20